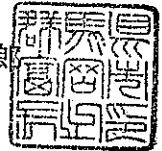




富 建 第 3 3 号
平成 1 9 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

富岡市長 岩 井 賢太郎
(建設部建設課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、常日頃から富岡市の道路整備事業等におきまして、格別のご配慮を頂き誠にありがとうございます。

さて先般「道路特定財源の見直しに関する具体策」の閣議決定を受けての中期的な計画策定に関するご説明を頂きました。

この件について、関係部署と協議・調整した結果、国道企第114号にて依頼のありました標記について、別添のとおり回答いたしますのでよろしく願いいたします。

道路整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について
 - 1) 増加する道路橋梁等の維持管理予算の重点配分が必要（特定財源として別枠で交付）
 - 2) 緊急輸送道路（都市計画道路等）などの重点的な整備を進める。
 - 3) ユネスコ世界遺産登録に向けての施策として（富岡製糸場周辺）を街並みの保全と歴史的景観地区として、街なみの修景や路地の再生、歩いて楽しい道路整備などを計画し、一部無電柱化を進めている。補助率の大幅な増高を要望する。
 - 4) 観光地へのアクセス性の向上や、歴史性豊かなまちなみを観光資源とする施策（旧街道沿いの街並みの整備）。
 - 5) 中心市街地に来街する観光客等に回遊性を持たせるための公共駐車場のスペースの確保事業。
 - 6) 地方の幹線道路（国・県道）と生活道路の整備促進、特に、高速道路のIC、新幹線駅へのアクセス性の向上を図る必要がある。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて
 - 1) 国と市町村との関係を強化し、スピード行政を推進する。
 - 2) 交付金事業等の申請書類の簡素化が進められてきたが、更なる省力化を図ること。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般について
 - 1) 市町村に対する道路管理に対する交付税の大幅な増額が必要である。
 - 2) 国土交通省関係職員に地方の道路行政視察をつぶさに実施していただき、担当する市町村職員との意見交換会の場を持つと共に、市長を含めて情報交換会を実施したい。